

大作 迎春 辰龍竜



・・・元気に 一年を過ごせますように!・・・

デイサービスセンターこころ 木口 佳美

今年の干支「辰年」。「たつ」には「辰」「龍」「竜」と違った漢字があります。それぞれの違いを一言で述べると「辰」は十二支の一つ。「龍」は想像上の動物。「竜」は龍を簡単にした字となっています。

十二支の中で唯一、空想の生き物である「龍」(辰)は天に昇る様子から、中国では古来より成功や発展の象徴として縁起がよいとされており、日本でも龍神さまが祀られています。干支のルーツは中國殷の時代。戦国時代の中国天文学で空を十二等分した名称として十二支が使われました。どうして一つだけ架空の動物が選ばれたのか、その理由ははっきりとわかっていません。諸説がありますが、龍は古来より中国で権力の象徴とされ縁起の良い生き物とされ、また王様の生まれ変わりである貴重な動物として崇められて重要視されたとも言われています。

昨年11月より今年の干支「龍」の貼り絵の作成に取り掛かりました。模造紙三枚にわたる大きな作品で、力強く・元気な一年を過ごせますようにと願いを込めて取り組んでいただきました。大きな作品の為、完成した全体像が見え難く「どこの部分を貼ってるんだろう?」「これは何になるの?」「これは何の絵?」等口々に話されます。完成の暁には“天にも昇る出世龍”になる事を説明すると「全部貼れば、分るね。頑張ろう!」とコツコツと作業を進めてくださいました。細かな部分は、ハサミ・ピンセットを使用し丁寧に組み込まれる姿も・・・貼る・折り紙をちぎる等各自の得意なこと・ご自身でできることに組み込まれ、努力の結果大作が完成しました。一枚になった絵を見られ「よくここまで貼れたわあ」「立派な作品が完成した」「こんなに大きな絵になるとは思わなかった」等々完成作品を見て喜ばれていました。絵は今年一年間こころの玄関で利用者みなさまをお出迎えします。よろしくね!

